

# ENGGAWA

2012年3月号

特集

## 深山に灯る希望の灯火

### 目次

#### ■特集 深山に灯る希望の灯火

昨年大みそかに北区引佐町で行われた、みやまの鐘プロジェクト。地域活性のために何かできないかと、地元住民が立ち上がり地域が抱える課題に、立ち向かっています。今回は、そんなみやまの鐘プロジェクトの内側にせまります。ページ2-5

#### ■エンガワトピックス

●1月から3月にかけて行われた、浜松地域人づくり大学 市民活動実践講座。この講座を行った5つのNPO 法人と講座のようすを紹介します。ページ6

#### ■Check!!

市民協働センターのアドバイザーを紹介します。あなたも、市民協働アドバイザーになってみませんか？



特集

# 深山に灯る

## 希望の灯火



### 8年の空白～暗闇の門前

みやまの鐘プロジェクト代表を務める、仲田伸吾さん。仲田さんは、高校卒業後、家業の大工を継ぐために、愛知県へ修業に行きました。

実家のある浜松市北区引佐町へ戻ってきたのは8年後。その年の大みそか、自分の子どもを連れ、臨済宗方広寺派大本山方広寺へと出掛けたのです。子どもたちと『出店で、たい焼きを買ってあげるよ』という約束を交わして・・・

仲田さん自身も、8年ぶりの方広寺。子どもたちに、楽しい思いをさせてあげたいと、足どりも軽く向かったといいます。

「僕らの子どもの頃の大みそかは、魔法の世界にいるような特別な日でした。なぜかといえば、その日だけは、友だちの家に泊まりに行くことができ、遅くまで起きていても親に怒られない。子どもにしてみれば、夢のような日だったんです。

そして、方広寺には出店が軒を

連ね、そこで焼きそば買って食べたり、おもちゃなどを買って境内で遊んだり、自分が味わった楽しい思いを、我が子にも味わってもらおうと思ったんです」

意気揚々と方広寺へ向かう仲田さん親子。しかし、目にしたのは、思い描いていた光景とは真逆のものでした。

「方広寺につくと、出店どころか人はだれもいませんでした。子どもに対する申し訳ない気持ちと同時に、この地域に対する危機感を

特集

## 深山に灯る希望の灯火



感じました。そこで、すぐに方広寺の前に広がる門前町の友人の所へ駆けつけたんです」

### 空白を埋める、門前の灯火を照らせ

仲田さんは、奥山の町に、かつての活気が失われ、人も歩いていないほどの町になってしまっている。このままじゃダメになってしまうのではないかという思いを、

友人たちに話すと、彼らも同じ気持ちを抱いてたといいます。

仲田さんが声を発したことで、細江や三ヶ日の友人も駆けつけ、共に手を取り合う仲間が結集。まちに活気を呼び戻し、さらには、持続可能な未来をつくりあげる企画を考えることを目的とする「みやまの鐘プロジェクト」がうまれたのです。

しかしながら資金ゼロ、ノウハウゼロ。あるのは熱い気持ちのみ。

そのため、空回りの話し合いばかり…。地元小学校の先生などからアドバイスを受けながら、お金がなくても、子どもたちのために、できることから行動しようと考えました。そして、昔の遊び教室と、地元の歴史を伝えるための、写真館の設立を考えたのです。

昔の遊びは、地域の公園を利用して、すぐに始められたのですが、写真館は構想だけで、開設する場所はありませんでした。

特集

# 深山に灯る希望の灯火



## 境内に、子どもたちの声に戻った。



### 協働は、世代を超える

写真館の場所を探し求め、門前町を一軒一軒歩きました。そして、明治時代から門前町で店をかまえている老舗、『中尾商店』を訪ねたのです。

店主の中尾さんには、駄目で元々というおもいで、自分たちの奥山に対する情熱を、包み隠さずぶつけました。すると、中尾さんからかえてきた言葉は、「単発のイベ

ントだけの写真館なんてもったいないよ。どうせなら、ずっとやったらいい。場所は、僕の自宅の空いている所を使ってくれればいいから」と思ってもない提案。プロジェクトの仲間たちは胸がいっぱいになったと、いいます。

当時を中尾さんは、こう語ってくださいました。「せっかく若い衆が頑張っているのだから、僕らのような年配者は、応援してあげなきゃいけない。共に動きまわるこ

とはできないけれど、できる範囲での協力はしてあげたかったです」中尾さんのこの行為は、多数の地域の人々の協働を得られる結果へと、導いてくれました。

かくして、それぞれ違う職業をしている者が、地域でさまざまな立場の人たちが、さらには世代を超えて地域の協働事業は実現し、成功することができたのです。いや、成功という結果は、協働が成し得た技なのかも知れません。

特集

# 深山に灯る希望の灯火



上/地域住民へキャラクターデザインを公募。決定したのが「てんてん」「ふわり」「ひらり」。愛されるキャラクターになって欲しいと、願いをこめた。

右/公募で選ばれた住民へは、記念品の贈呈も行われた。



今後は4月の奥山さくらまつりなど、様々なイベントにかかわり活動していく予定。

問い合わせ

090-1567-9337 代表 仲田さん



## 参道を照らす灯籠

昨年の大みそかには、第三回目の、「和の灯り道 灯籠・除夜の鐘」が行われました。門前通りから、本堂まで続く参道を、灯籠で灯したのです。

灯籠には、地元の小学生をはじめとする、人々の願いや思いを書き込みました。企業協賛も得られたといいます。

本堂は、親子連れであふれ、寒

さの厳しい大みそかの夜を、すいとんや汁粉で暖めながら、昔ながらの生活を知る機会になればと、餅つきも行われました。中には、餅つきを、生まれて初めて体験する子どもたちもおり、たちまち会場は、笑顔に包まれました。

## 考えるよりアクション!

最後に、この三年間の活動の中で得たものを、仲田さんにうかが

いました。「行動する前は、本当にできるのか?とっていました。けれど、アクションをおこせば、自分の意識が変わるんです。プラス思考になるのです。

すると、答えを導き出せる。大切なことを話し合いをしているだけでは、課題ばかりが見えてきて、マイナス思考になりがちです。まず行動を起こすことで得たものが非常に多かった」と力強く話してくれました。

## エンガワトピックス

# 平成23年度 浜松地域人づくり大学



## 浜松地域人づくり大学ってなに？

地域のために何かをしたいけれど、何をしたらいいのかわからない…。そんな『“何か”を見つけて、学んで活かせる仕組み』を目指しているのが人づくり大学。

人づくり大学では、浜松市が行っているさまざまな講座の中から、地域での活動に役に立つ知識や技術を身につけることのできる講座を、毎年、パンフレットを作成して紹介しています。そして、紹介された講座を、多くのみなさんに受講していただくことで、協働事業の担い手として、地域で活躍していただくことを目的としている事業です。

今回は、スペシャル講座と題して、NPO法人からの企画提案が採択されたものを、浜松市の委託事業として開催しました。5つスキルアップ講座の内容は、子育て、福祉、環境、情報などの多岐にわたり、それぞれの分野に関心のあるみなさんが、熱心に受講されました。

講座を担当したそれぞれのNPO法人は、日ごろの社会貢献活動の経験を活かし熱心に、そして丁寧に知識や技術を伝えました。受講生の一人は、「地域に様々な問題があることを知り、自分からもっと、アクションを起こしていかなければ。今後は自分の活動にも、学んだことを活かし役立てていきたい」と話していました。

# 平成23年度浜松地域人づくり大学



## スペシャル講座の内容を、ちょっとだけご紹介します。

### ■NPO 法人

#### ラブ・ネイチャーズ

NPO 法人ラブ・ネイチャーズでは『インタープリター入門講座』と題して、環境学習やフィールドワークを通じて、個々の環境に対する知識を深めていきました。

### ■NPO 法人

#### ころころネット浜松

NPO 法人ころころネット浜松は、子育てに関する専門的な知識などを学ぶことにより、子育て支援ができる人を育成するための『子育て支援サポーター養成講座』を実施。子育て中の母親はもちろん、子育てを終えたお母さんたちも参加。さらには、男性の参加者や、幅広い年齢層のみなさんが受講しました。

### ■NPO 法人

#### 浜松子育てネットワーク びっぴ

NPO 法人浜松子育てネットワークびっぴは、『地域レポーター養成講座』を開催。子育て中のパパやママを対象に、子育て中に役立つ情報を、当事者目線で発信していく、情報レポーターを育成しました。

### ■NPO 法人

#### 浜松子どもと メディアリテラシー

NPO 法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所（通称：メリ研）では、『子どもとインターネットの今と未来』をテーマに、多様化するネット社会の実情や、それ

に伴うトラブルや悩みなどに対応するため、子どもや親のインターネットへの関わり方などを、学びました。さらに、メリ研が行っているネットパトロールを、実際に体験しました。

### ■NPO 法人

#### 魅惑的倶楽部

NPO 法人魅惑的倶楽部は、知的障害のある人を理解し、余暇支援ができる人を育てる『マジックハートコンサートスタッフ養成講座』を開催。障害のある子を持つ保護者が、子どもたちの様子を演じる寸劇を見たり、実際にコンサートの内容を考え、体験をしました。

次の機会には、みなさんぜひ参加してみてください！

# Check!



URL <http://www.machien-hamamatsu.jp/>



E-mail [kyoudou@machien-hamamatsu.jp](mailto:kyoudou@machien-hamamatsu.jp)



## 浜松市市民協働センター

☎430-0929

浜松市中区中央一丁目13-3

☎053-457-2616

FAX053-457-2617

## 今回は市民協働センターの強力なサポーター市民協働アドバイザーに、お話を聞きました。

### 市民協働アドバイザーとは…

市民協働センターが行う『夢創造人養成講座』に一定以上の受講率を達成した人に、センター長が認定するものです。市民協働センターの事業に、自主的に参画し、事業支援等をいただく協働ボランティアスタッフです。



中野美智子さん

市民協働アドバイザー連絡会の代表を務めている。

### ★夢創造人養成講座を受講して

**中野**：まずはじめに感じた事は、自然と人とのふれあいの素晴らしさでしょうか。そしてフィールドワークで出会った地域の人や受講生の前向きな姿勢に心が揺さぶられました。浜松にはまだまだ多くの宝物がいろんな地域に眠っているのですね。

### ★市民協働アドバイザーになってみて

**中野**：市民協働センターとの関わりを持ちやすくなりました。今後は、地域の縁側的な役割を担って、企業や地域住民との連携を模索したいと思います。自分ができる分野で、様々な事に関わっていただければいいですね。

### ★これからアドバイザーを目指す人へ一言

**中野**：この講座は、多くの人との出会いや、知識に恵まれるチャンスだと思います。プラス思考で、誰にだって様々な可能性はあることを信じ、扉を開いてください。



伊藤彰彦さん

静岡県環境学習指導員としても活躍中。

### ★夢創造人養成講座を受講して

**伊藤**：受講生、講座で出会う人との、年齢や職種を超えた、人間同士の交流が、面白かった。初めて行った白倉峡の自然の造形美に、深く感動しました。視線を足下に向けると、浜松には素晴らしいものがたくさんあることに気がつきました。

### ★市民協働アドバイザーになってみて

**伊藤**：学生から定年退職者まで、世代を超えたアドバイザー同士の情報交換が刺激的で、勉強になります。アドバイザーとして、自分の地域や身近なところから、知らない地域の良さを発見し、地域を活性化していきたいと思います。

### ★これからアドバイザーを目指す人へ一言

**伊藤**：何でもいい。自分のテーマを決め、講座に参加すれば、より楽しくなり、地域や人に対する着眼点も変わると思います。決して無理をせず、一步一步ゆっくと。



渡邊寛さん

地域に関する問題などに、人一倍熱い情熱を、持っている。

### ★夢創造人養成講座を受講して

**渡邊**：ただ単純に、楽しい。地域活性化を進めてる人たちに、触れ合うと新しい発見もあるし、自分も力をもらえました。

### ★市民協働アドバイザーになってみて

**渡邊**：中山間地域支援に、力を入れていきたいなあ。市民協働アドバイザーとしていろんな人とつながり、仰々しくないしゃべり場を作っていきたいと思います。

### ★これからアドバイザーを目指す人へ一言

**渡邊**：協働ということばや行為は、知らない人が、たくさんいると思います。協働の意味や素晴らしさを、もっと知ってもらいたいですね。事を始めるキッカケを探している人は多いと思います。

一人ではできない事でも、つながることで実現できることを、市民協働センターで実践的に教わりました。まずは、一步を、踏み出してみてください。